

一般会計歳出入内訳

項目	予算額
議会費	1億5,716万2千円
総務費	18億5,222万2千円
民生費	33億3,702万8千円
衛生費	14億4,683万5千円
労働費	3億7,956万3千円
農林水産業費	9億7,000万1千円
商工費	10億5,973万4千円
土木費	47億7,505万9千円
消防費	4億8,163万7千円
教育費	25億2,237万円
災害復旧費	2,988万6千円
公債費	9億7,388万3千円
予備費	1,000万円
歳出合計	179億9,538万円

昭和四十八年度の市の予算が決まりました。それによると一般会計百七十九億九千五百三十八万円、特別会計五十九億二千二百一十二万円、予算総額は二百三十八億九千七百五十万円です。昨年度に比べて総額で二億七千六百六十万円、一般会計では三億三千三百六十万円、この予算で今年四月から来年三月までの一年間の事業がまかなわれるわけですが、今年度は①都市基盤の整備、②生活環境の整備、③社会福祉の充実、④産業の振興、⑤教育文化の向上を五つの支柱として市政を推進していきます。とくに生活環境の整備と社会福祉の充実と老人福祉の充実と力を入れることにしています。そこで、今年度の事業をお知らせします。

生活環境

大分川河口に終末処理場を建設 公害監視体制をさらに強化

産業経済が発展するにつれて、快適な生活への要求は従来に増して高まっています。そこで、今年度は三十八億七千二百万円を計上し、豊かで住みよい生活環境をつくることにします。

〔公害防止対策〕

まず、既存企業ととりきめて、公害防止協定の基準を再検討し、さらに厳しいものへ改定を図るほか、無過失賠償責任に関する条項のとり入れ等について関係各企業と話しを進め、その実現を図ることにしています。

また、測定器の整備、公害モニターの増設を行い、監視体制の強化を図ります。このほか一般住民、学童健康調査の対象区域を拡大して行きます。

〔下水道の整備〕

公共下水道は快適な生活環境を維持するための重要施設の一つです。この事業費として四億三千四百万円を計上しています。焼却場を三カ年連続事業で建設

ことしはこんな仕事をします 生活関連施設の整備を推進 社会福祉の充実 五つの支柱を推進

昭和四十八年度の市の予算が決まりました。それによると一般会計百七十九億九千五百三十八万円、特別会計五十九億二千二百一十二万円、予算総額は二百三十八億九千七百五十万円です。昨年度に比べて総額で二億七千六百六十万円、一般会計では三億三千三百六十万円、この予算で今年四月から来年三月までの一年間の事業がまかなわれるわけですが、今年度は①都市基盤の整備、②生活環境の整備、③社会福祉の充実、④産業の振興、⑤教育文化の向上を五つの支柱として市政を推進していきます。とくに生活環境の整備と社会福祉の充実と老人福祉の充実と力を入れることにしています。そこで、今年度の事業をお知らせします。

都市基盤

古国府明礪線を新設 幹線市道舗装率を55%へ

都市化に対応するための都市基盤の整備には三十一億四千六百万円を計上し、とくに道路の整備および区画整理事業を重点的に進めます。

〔道路の整備〕

市道、農道の舗装は引き続き重点施策として取り上げ、総額四億三千六百万円を計上しています。市道では今年度で初年度として道路舗装第二次三カ年計画を立て、今年度は一般土木事業と失業者対策事業とを合わせて延長六十一kmを舗装します。とくに幹線市道では舗装率を五十五%まで引き上げます。

また、農道は延長五十五kmを舗装し、全体の七十三・五%まで舗装率を引き上げます。

社会福祉

社会福祉センターを建設 三歳未満児の保育所も

今年度は社会福祉優先の年といわれています。市ではかねてから市政の目標として社会福祉の向上をおき、その実現に努めてきました。今年度は、さらに住民福祉の向上を目指すため三十三億三千七百万円を計上し、きま

こまかい行政を進めていきます

〔老人福祉対策〕

社会福祉推進の拠点として社会福祉センターを建設します。このセンターは老人福祉センターをかね、老人相談はもとより高齢者職業紹介所と協力し、年齢と健康にふさわしい職業のあっせんを行なうほか老人の楽しみ場の場として広く利用できるようにします。

また、老人のワークルームを設けて楽しみをかねた手芸品、民芸品を作る場所も設けることにしています。

このほか、老人憩いの家を二カ所新設します。敬老年金はその支給範囲を拡大し、対象年齢

教育文化

屋内温水プールを建設 小中学校の新設・増改築も

教育文化の振興には二十五億二千二百万円を計上し、施設の整備、教育の充実等に取り組みます。

〔施設の整備〕

児童数が急増している南大分地区に二小学校を新設します。また日岡小学校は二校、王子中学校は四校、新生養護学校と今年度も事故の絶滅を期し安全施設の整備を行なうと共に交通安全指導員を増員するほかスクールゾーンを拡大し児童の交通安全を図ります。

〔施設の整備〕

児童数が急増している南大分地区に二小学校を新設します。また日岡小学校は二校、王子中学校は四校、新生養護学校と今年度も事故の絶滅を期し安全施設の整備を行なうと共に交通安全指導員を増員するほかスクールゾーンを拡大し児童の交通安全を図ります。

産業

中小企業に住宅資金をあっせん 農業経営の近代化をはかる

農業の振興と中小企業対策に重点的に取り組むため二十億三千五百万円を計上しています。

〔農業の振興〕

農業振興地域整備計画に基づいて生産性の向上、価格安定および流通近代化等の施策を講じて、自立経営農家の充実、経営

規模の拡大、野菜生産出荷施設の近代化等を推進します。また、農林道の整備、松くい虫防除も引き続き推進します。

〔中小企業対策〕

中小企業の共同化、協業化に力をつぎ共に金融対策として設備近代化、経営合理化資金の

融資額	2百万円以内
利息	無利息
申込期間	4月20日～5月31日まで
申込先	市商工課

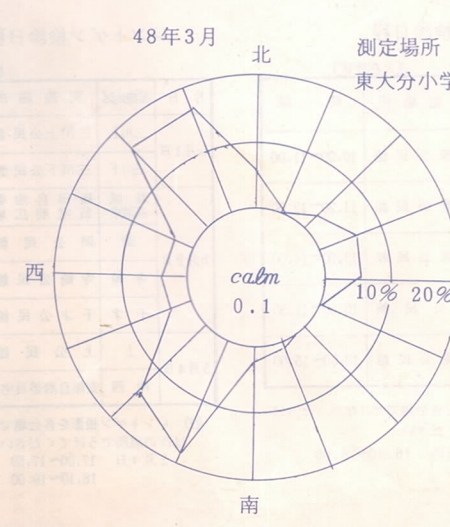
貸出枠の拡大を図ります。また中小企業従業員の福祉増進のため持家対策として住宅資金のあっせんを行なうことにしています。

物価対策では消費者行政に力をつぎ内容充実を図ります。そのためには消費生活相談会、消費者モニター等の制度を活用して消費者保護、消費者啓発等を行ないます。また、中央卸売市場の建設は今年度、市場の設計委託料を計上しています。

区分	測定場所	1月	2月	3月
市測定器	三佐小学校	0.011	0.015	0.016
	桃園小学校	0.011	0.016	0.012
	東大分小学校	0.014	0.022	0.021
	大分工業大学	0.015	0.021	0.018
	市役所	0.026	0.028	0.028
	滝尾小学校	0.010	0.014	0.018
	上久所公民館	0.011	0.010	0.010
	植田小学校	0.012	0.017	0.018
	竹中小小学校	0.012	0.014	0.012
	八幡小学校	0.009	0.012	0.012
県測定器	大分県庁	0.027	0.035	0.032
	国立高専	0.016	0.019	0.019
	日岡小学校	0.013	0.019	0.020
	南大分小学校	0.011	0.017	0.017
	鶴崎小学校	0.013	0.015	0.014

区分	測定場所	1月	2月	3月
市測定器	三佐小学校	0.035	0.055	0.040
	東大分小学校	0.038	0.054	0.033
	市役所	0.057	0.070	0.049
	大分県庁	0.041	0.060	0.049
	国立高専	0.042	0.050	0.040
	日岡小学校	0.044	0.062	0.052
	南大分小学校	—	0.057	0.044
	鶴崎小学校	0.046	0.061	0.050
	大在小学校	0.041	0.055	0.045
	坂ノ市支所	0.050	0.065	0.053

区分	測定場所	1月	2月	3月
市	市役所	0.024	—	—



大分の青空いつまでも 3月のSO₂濃度と浮遊粉じん

3月の亜硫酸ガス濃度は全般的に先月とほぼ同じですが、滝尾小学校がやや高く、桃園小学校・県庁・坂ノ市支所がやや低くなっています。風向は先月に比べて北西の風がやや吹いています。

SO₂濃度 先月とほぼ同じ

